



「パソコンに触ったのが36歳の時。自分がスタートが遅かったこともあり、どうやって資格をとったのかを教えることができる。若い子に自信を持って取り組んでもらっています。」
 今回で紹介するのは、西谷パソコン教室の若山美枝子さん。

ピンチはチャンス

西谷パソコン教室 若山 美枝子

No.82

小矢部に戻り、まず最初に行ったのが、独立行政法人雇用・能力開発機構。そこで、ハローワークを利用しての方に、パソコンの資格を取得してもらい、就職を支援する教室をスタート。

この街で頑張る人、会社、団体を「人と人とのつながり」で紹介していきます。



また、若山さんのやりたいことに、もうひとつ農業がある。

20年前、石川県に住んでいた頃、幼稚園の息子のために自分で安全な野菜を作ろうと思ひ、近所のおじいさんに頼み、田んぼの半分を借りた。

「そのうちに仲間が増え、畑チームを作って野菜作りをやったんです。」

小矢部にも、父親がやっていた田んぼがある。「小矢部の田んぼを使って、3つのことをやる」と考えています。」



を活用した職業能力開発「国の補助金事業は、なかなか一般市民に情報が入りにくい。この助成金を利用してぜひ従業員のスキルアップに役立ててほしい。」



一つ目が石川県にしかない栗芋栽培。小松で生産されている栗芋は本当にうまい。まさに栗のよいうな味がする。これは、すでにやり始めた。

「親のいない、または親がいても施設に預けられている子ども達を呼んで一緒に芋掘りを楽しんでいます。」

子ども達からは、イラスト付きの手紙が沢山届く。富山県知事からも感謝状が贈られた。

二つ目がゴボウの波板栽培。波板を畑の中に斜めに埋めてゴボウを育てる。真っ直ぐに育ち、収穫も楽。

三つ目がコットンを使った農業を使わない全く新しい稲作。

化粧水をつけるコットンのクズを使い、コンヒカリの種を埋め込んだ布団を作り、代かき後に乾燥させた田んぼに敷く。コットンが日光を遮り、雑草が生えない。しかも微生物により50〜60日で分解し肥料になる。その時にはすでに稲が大きくなっており、除草も不要。



全日本情報学習振興協会認定校
 サーティファイ認定試験会場
 コンピュータサービス技能評価試験実施施設

西谷パソコン教室

〒932-0044 富山県小矢部市新富町3-5
 石動コミュニティセンター横

TEL・FAX：0766-67-0098
 E-mail：ramu_4649@yahoo.co.jp

田んぼに出かけている場合があるので予約が必要です（携帯：090-9449-0098）
 車は店前に路上駐車出来ます

「来年は我が家だけでやりますが、次年度からお子さん連れで田植えと稲刈り、最後に餅つきをしたいと思っています。」

「子供の頃、稲刈りが終わった田んぼで遊ぶのが楽しかった。だから農業をしたいのかもしれないね。」

若山さんは、今まで「ピンチはチャンス」だと捉え、問題を乗り越えてきた。小矢部に戻り、そのチャレンジ精神とパソコンのスキル、そこに農業を繋ぐ。

「小矢部市が他の市より頭一つ抜き出た街にしたい。」
 それが若山さんの想い。

プレゼント



パソコン入門～ホームページ作成等
 聞きたい事が聞ける時間を提供します。

無料体験チケット50分×3枚 20名様

募集期間：平成24年1月16日(月)まで
 PC・携帯からのご応募：http://www.startaro.com/shop/OYABE_SNS会員様はキャンペーンに自動応募されます
 Oyabe Local SNS：<http://www.sns.startaro.com/>



店長の一言